

2009年3月期 決算説明会

2009年5月20日(水)

いちよし証券株式会社
執行役社長 武樋 政司

この資料は2009年3月期の決算業績ならびに今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘することを目的としたものではありません。本資料に記載された計画や見通し等は、資料作成時点の当社の判断であり、その実現・達成を保証・約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。

I. 決算報告 2009年3月期決算報告(連結)

1. 収支の状況	4
2. 財務の状況	5
3. 貸借対照表	6
4. 営業収益の内訳	7
5. 受入手数料の内訳	8
6. トレーディング損益	9
7. 販売費・一般管理費の内訳	10
8. 今期の実施事項	11
9. 収支構造の改善	12

II. 業績の推移

1. 預り資産の推移	14
2. 入出金入出庫・純増額の推移(リテール・月間平均)	15
3. 投資信託の募集・解約・純増額(月間平均)	16
4. 主要投資信託の残高	17
5. 預り口座数の推移(リテール)	18
6. 幹事会社数の推移(累計)	19

Ⅲ. 新中期経営計画

1. 目的	21
2. 基本的な考え方	22
3. 基本戦略	23
4. 数値目標	24
5. 預り資産の拡大	25
6. 預り資産の拡大(投信)	26
7. 投信残高表	27
8. 収支構造の改善ーコストカバー率(単体)	28
9. 収支構造の改善ー株式以外の収益でコストをカバー	29
10. 商品戦略	30
11. 競争力強化	31
12. チャネルの多様化	32

Ⅳ. コーポレート・ガバナンスと株主利益還元策

1. 当社の経営体制(2009年2月～)	34
2. 株主構成の推移	35
3. 利益還元	36

I . 決算報告
2009年3月期決算報告(連結)

1. 収支の状況

(単位:百万円)

(単位:百万円)

	2008/3	2009/3	増減率 (%)
	4Q累計	4Q累計	
営業収益	21,489	14,256	△33.7
販管費	19,460	17,345	△10.9
経常利益	1,872	△3,261	—
特別利益	348	331	△5.1
特別損失	78	1,212	—
法人税、住民税 及び事業税	844	57	—
法人税等調整額	224	602	—
当期純利益	1,087	△4,804	—

2008/3				2009/3			
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
6,252	5,592	5,461	4,182	5,042	3,598	2,849	2,766
5,022	4,939	4,838	4,659	4,676	4,406	4,215	4,045
1,256	585	625	△594	405	△886	△1,361	△1,418
46	△0	△0	302	145	189	△1	△2
11	27	21	18	4	657	421	128
306	537	△76	76	18	8	11	20
275	△277	380	△153	177	△147	575	△3
715	300	303	△231	351	△1,217	△2,372	△1,566

繰延税金資産取崩し

①投資有価証券売却益 189百万円

②金融商品取引責任準備金戻入 136

投資有価証券評価損 1,094百万円

*連結比率=87.4:12.6

(営業収益ベース)

2. 財務の状況

	2008／3	2009／3	前期比増減額
総資産（百万円）	50,078	36,596	△13,482
純資産（百万円）	35,570	28,156	△7,414
自己資本比率（％）	70.9	76.7	5.8
1株当たり純資産（円）	775.38	640.42	△134.96
自己資本規制比率（％）	446.0	383.8	△62.2
1株当たり当期純利益（円）	22.90	△106.03	—
自己資本当期純利益率(ROE)(%)	2.9	△15.1	—

3. 貸借対照表

(単位:百万円)

	2008/3	2009/3	前期比増減額
資産の部			
●流動資産	39,175	27,448	△ 11,727
●固定資産	10,903	9,147	△ 1,755
資産合計	50,078	36,596	△ 13,482
負債の部			
流動負債	13,845	7,924	△ 5,920●
固定負債	358	346	△11
負債合計	14,508	8,439	△ 6,068
純資産の部			
純資産合計	35,570	28,156	△ 7,414●
負債・純資産合計	50,078	36,596	△ 13,482

現金・預金 +3,659百万円 信用残 08/3末 169億円
 信用取引貸付金 △11,449 09/3末 55
 預託金 △2,219 △114

投資有価証券 △1,390百万円

信用取引借入金 △3,510百万円
 預り金 △1,019

配当・自社株消却 △2,782百万円
 当期純損失 △4,804

4. 営業収益の内訳

(単位:百万円)

	2008/3	2009/3	増減率 (%)
	4Q累計	4Q累計	
受入手数料	19,156	12,557	△34.4
トレーディング損益	1,099	759	△30.9
金融収益	672	332	△50.5
その他の営業収益	560	606	8.2
営業収益計	21,489	14,256	△33.7
金融費用	149	95	△36.1
純営業収益	21,339	14,161	△33.6

(単位:百万円)

2008/3				2009/3			
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
5,625	5,000	4,854	3,675	4,446	3,103	2,556	2,451
296	238	303	261	292	267	97	101
184	202	160	124	107	102	66	56
144	151	143	120	195	124	129	156
6,252	5,592	5,461	4,182	5,042	3,598	2,849	2,766
45	46	31	25	29	29	18	17
6,206	5,546	5,430	4,156	5,013	3,568	2,831	2,748

5. 受入手数料の内訳

(単位:百万円)

	2008/3	2009/3	増減率 (%)
	4Q累計	4Q累計	

委託手数料の主な内訳			
株 券	7,422	4,544	△38.8
募集売出しの主な内訳 5,651億円 3,722億円 (募集額)			
投 信	3,858	2,064	△46.5
引受売出しの主な内訳			
新 規 公 開	95	8	△91.5
既 公 開 フ ァ イ ナ ンス	36	30	△17.0
計	132	38	△70.7
その他の主な内訳 8,259億円 6,044億円 (投信残高)			
受 益 証 券	6,211	4,760	△23.4
そ の 他	1,461	1,080	△26.1
計	7,673	5,841	△23.9

(単位:百万円)

2008/3				2009/3			
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
2,297	2,145	1,861	1,118	1,776	875	1,033	858
1,344	906	944	662	853	497	279	434
55	25	9	5	1	1	3	1
23	0	—	13	—	0	—	30
78	25	9	19	1	1	3	31
1,584	1,576	1,612	1,438	1,433	1,394	1,012	920
287	325	417	430	364	323	204	187
1,871	1,901	2,030	1,869	1,798	1,718	1,216	1,108

投信募集額上位3銘柄

(単位:億円)

08/3末		09/3末	
①メロン新興国ソブリン	531	①グローバルソブリン	461
②グローバルソブリン	418	②メロン新興国ソブリン	222
③ピクテグローバルインカム	275	③世界の大家さん	99

(単位:百万円)

	08/4Q	09/4Q	増減率
(a) 投信関連	10,069	6,824	△32.2%
(b) 株券手数料	7,422	4,544	△38.8%
(a)/(b)	136%	150%	

※(a)は募集手数料+信託報酬

6. トレーディング損益

(単位:百万円)

	2008/3	2009/3	増減率 (%)
	4Q累計	4Q累計	
株 券 等	728	425	△41.6
債券・為替等	371	334	△10.0
(債 券 等)	(371)	(334)	(△9.9)
(為 替 等)	(0)	(△0)	(-)
合 計	1,099	759	△30.9

(単位:百万円)

2008/3				2009/3			
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
180	182	196	168	145	115	77	86
116	55	106	92	147	152	19	15
(118)	(61)	(98)	(93)	(145)	(153)	(15)	(20)
(△1)	(△5)	(7)	(△0)	(1)	(△0)	(4)	(△4)
296	238	303	261	292	267	97	101

(単位:億円)

	2008/3	2009/3
外債の販売額	164	211

7. 販売費・一般管理費の内訳

(単位:百万円)

	2008/3	2009/3	増減額
取引関係費	2,560	2,139	△420
人件費	9,980	8,898	△1,081
不動産関係費	2,124	1,925	△198
事務費	2,835	2,628	△206
減価償却費	810	844	34
租税公課	224	156	△67
貸倒引当金繰入	0	0	0
その他	924	750	△173
合計	19,460	17,345	△2,114

<主な減額要因>

(単位:百万円)

① 広告宣伝費	△185
② 通信、支払手数料	△75
③ 旅費交通費	△61
④ 交際費	△60
① 賞与関係	△529
② 業績連動報酬等	△409
③ その他の報酬	△71
① 備品購入等	△100
② システム保守料等	△82
① 派遣社員減少	△125
② NRI	△54
③ NCS	△48
① 教育研修費	△88
② 情報費等	△39
③ 従業員採用費	△30

8. 今期の実施事項

2008年度の実施事項(2008・4～2009・3)

- 1 執行役員制度の導入 2009・2・1
- 2 役員報酬10%カット 2008・10～
- 3 自己株式取得・消却 2008・11～2009・1 195万株(発行済み株式数の4%)
- 4 配当金26円 — 中間16円・期末10円
- 5 筋肉質な体質作り — コスト削減と小さな本社
- 6 CSA(カスタマー・サービス・アドバイザー)制度の新設
富裕層特化シフトのサポート
- 7 ACO(エリア・コンプライアンス・オフィサー)制度の新設
業務管理課の効率化と将来のミニ店舗出店の布石
- 8 顧客紹介業と金融商品仲介業の立ち上げ 税理士とのタイアップ

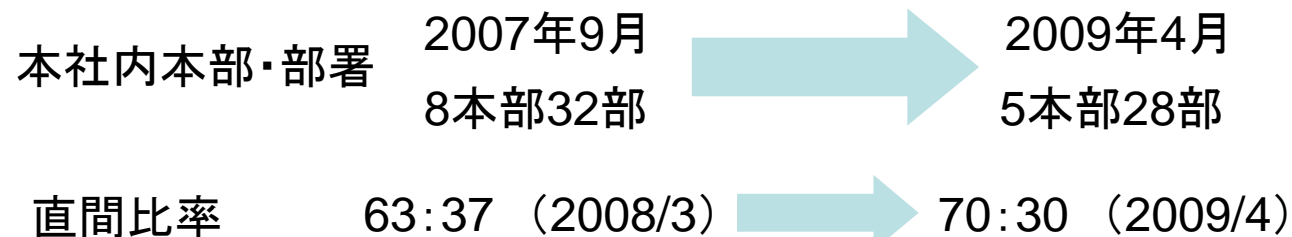
2009年度の決定事項(2009・4～)

- 1 「一吉国際香港有限公司」と「いちよしIR研究所」の閉鎖(清算)
- 2 役員報酬15%カット/上級職 月例給 5%カット 4月～
- 3 当社所有の不動産の有効活用 いちよしビジネスサービスとのタイアップ

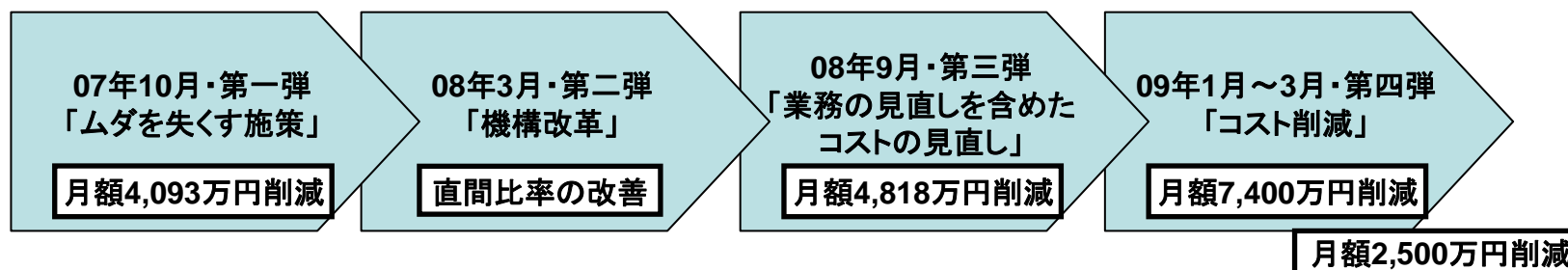
9. 収支構造の改善

筋肉質な体質作り

1. 本社・本部のスリム化



2. コスト削減



	2007年9月	2008年3月	2009年3月	2010年上期(予)	2010年下期(予)
月間コスト	1,564	1,529	1,360	1,255	1,230
固定費	1,236	1,218	1,137	995	957
業績連動費用	328	311	223	260	273

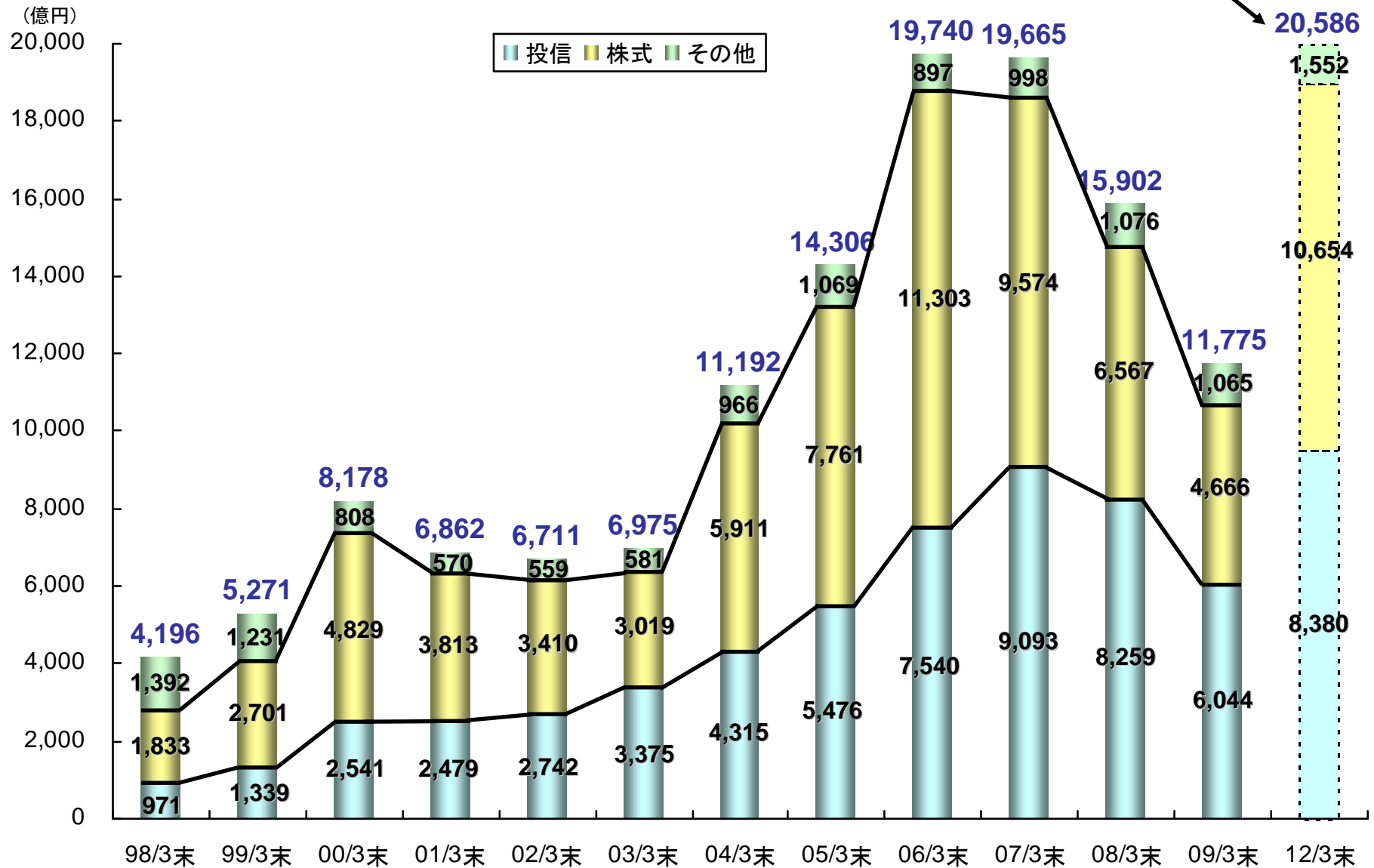
(単位:百万円)

Ⅱ．業績の推移

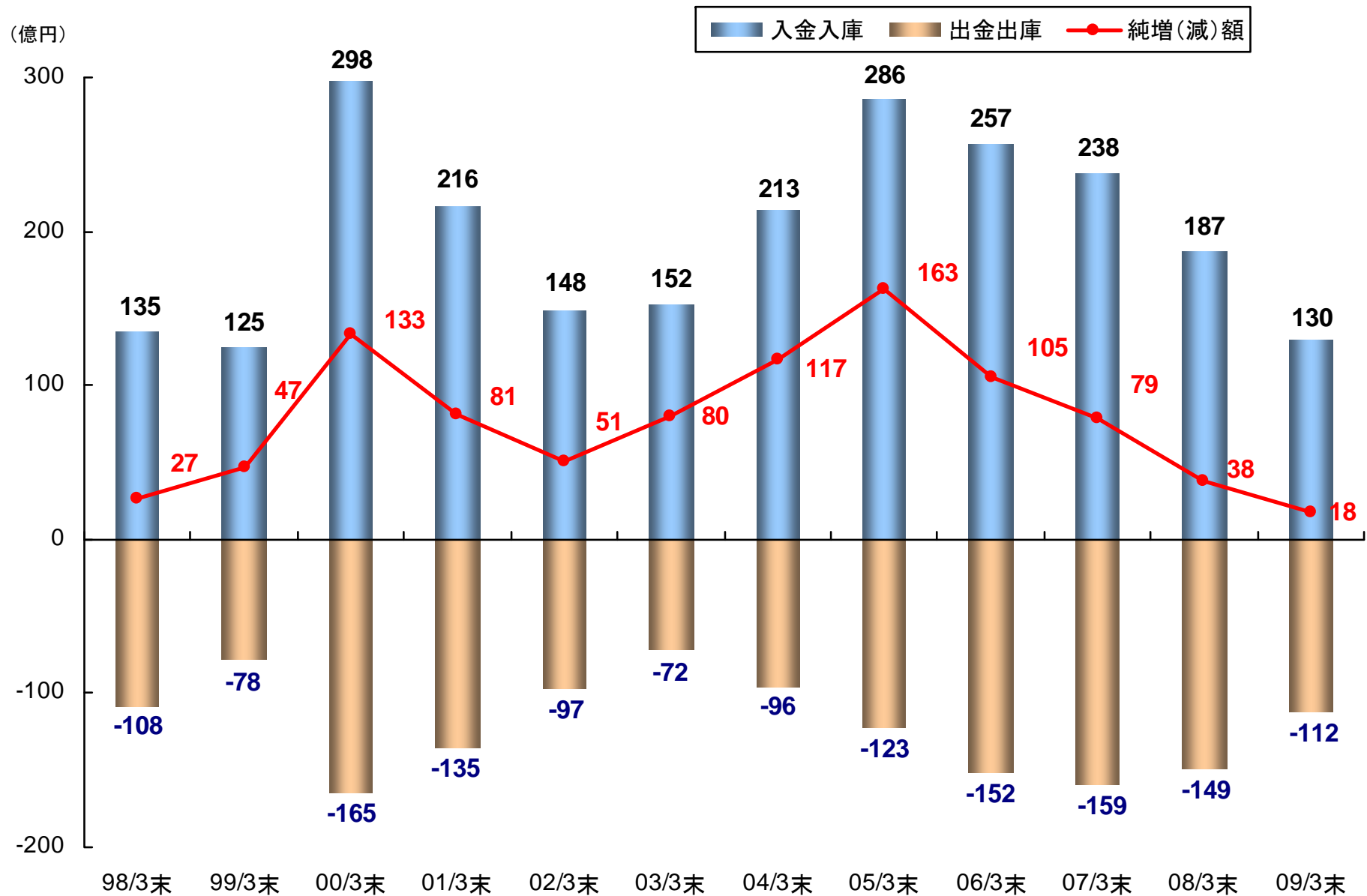
1. 預り資産の推移

いちよし証券

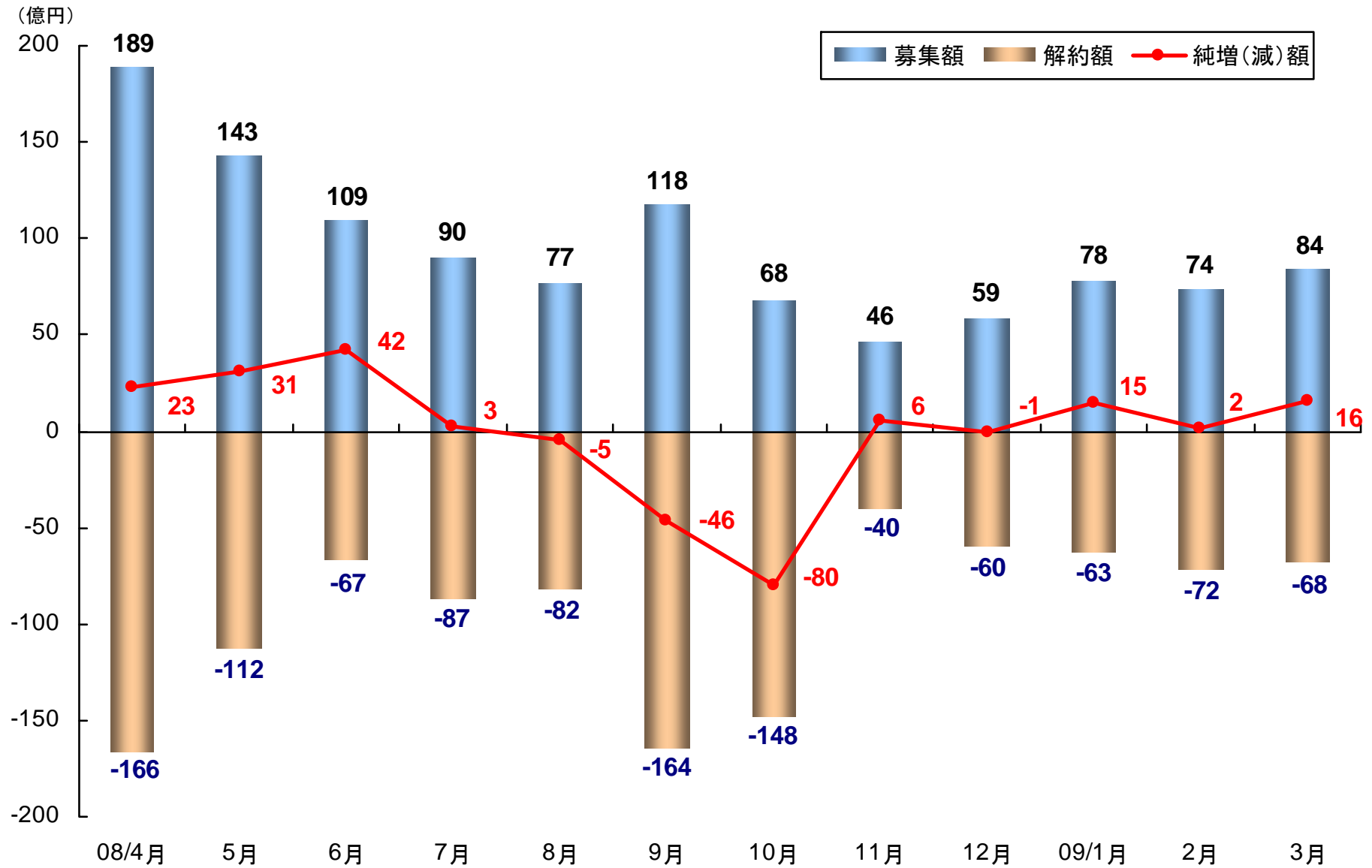
新中期経営計画の目標



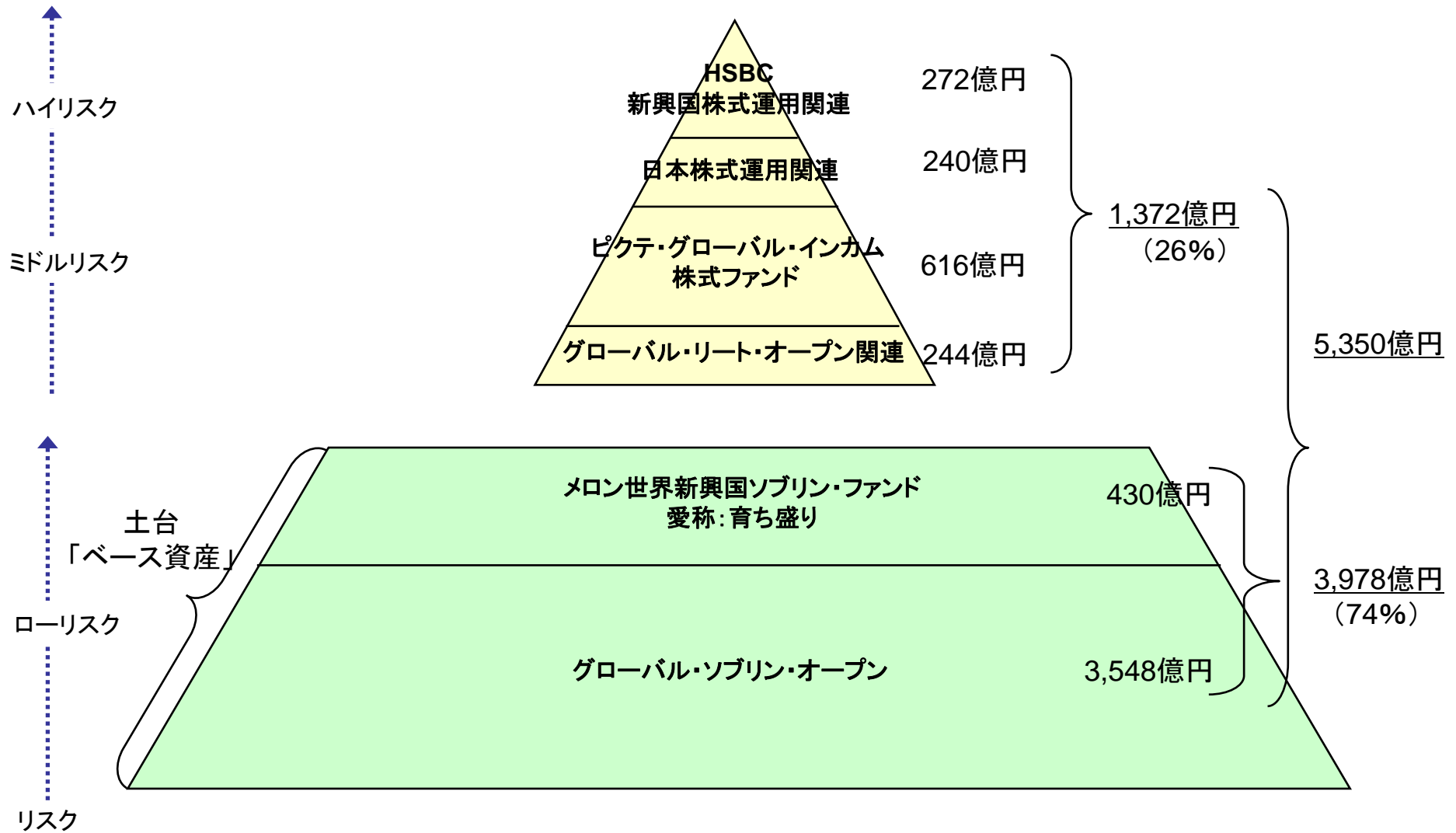
2. 入金入金出庫・純増額の推移(リテール・月間平均) いちよし証券



3. 投資信託の募集・解約・純増額（月間平均）

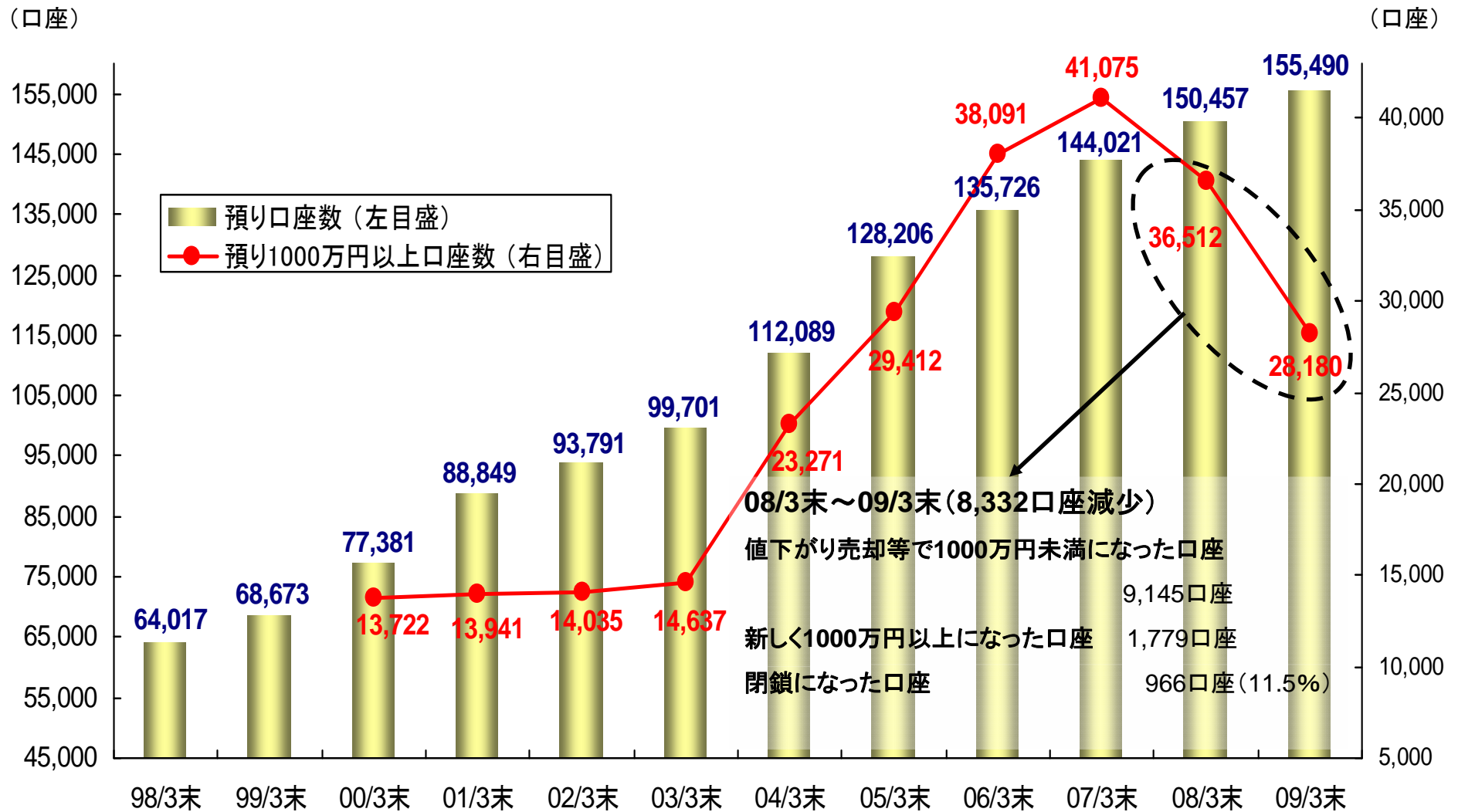


4. 主要投資信託の残高

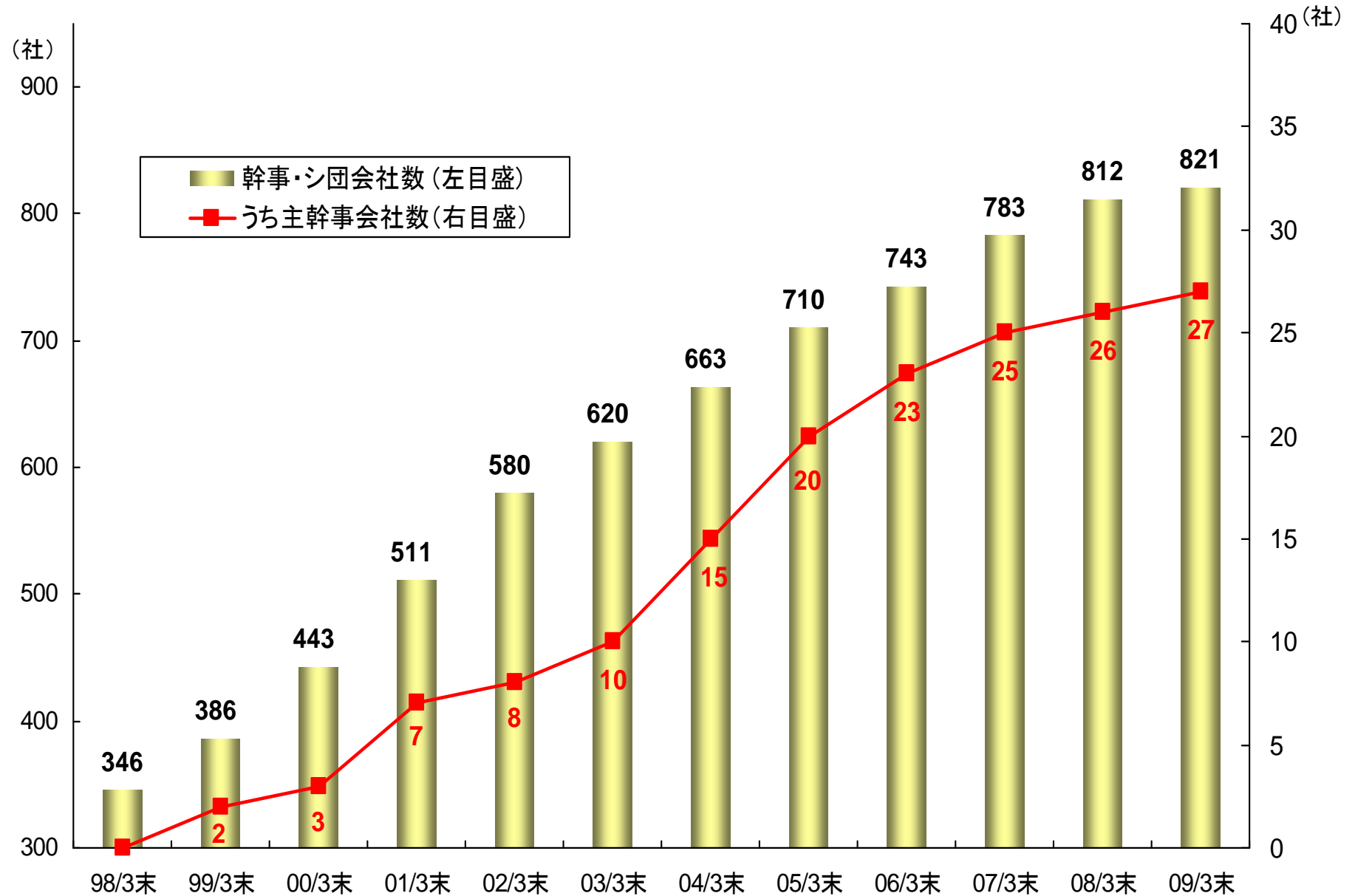


※残高は2009年3月末

5. 預り口座数の推移(リテール)

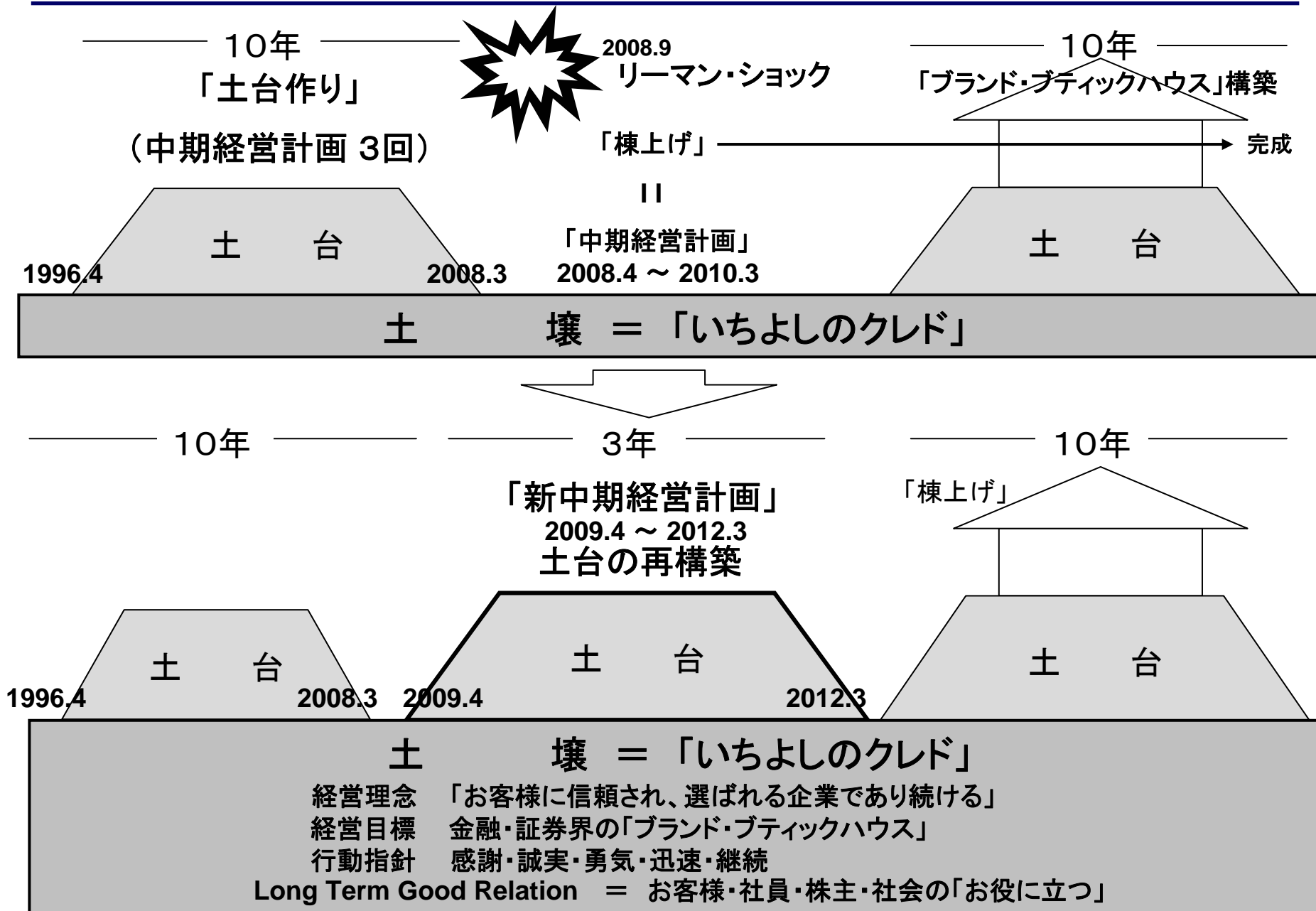


6. 幹事会社数の推移(累計)



Ⅲ. 新中期経営計画

1. 目的



2. 基本的な考え方

1. 「原点回帰」ー 戦略

いちよしのアドバンテージの復活

どこよりも早く、投資信託による「資産管理型営業」を実践しその成果がある

証券業の生業として終始一貫やり続ける「ぶれない軸」を持っている

① 「クレド」の徹底と実行

② いちよしの特化・差別化ビジネスモデル 「個人富裕層の金融資産運用サービス」

「中小型株特化と中堅企業ニーズ対応サービス特化」

2. 中長期の環境変化に対する柔軟な対応 – 戦術

「マーケット環境の中長期トレンドの変化」や

「お客様マーケットの変化に対応する戦術」

マーケットニーズ(市場・お客様)に対応する商品提案力がある

トレンドで売買をお勧めすることで中長期投資を実践する

3. 基本戦略

- I. 預り資産の拡大 — お客さまからの信頼のバロメーター
いちよし証券の基礎体力のバロメーター
- II. 収支構造の改善の継続 — 安定収益の拡大・筋肉質な体質作り
- III. 顧客戦略 — 富裕層開拓外交の徹底
- IV. 商品戦略 — 「グロソブ」「日本国債ファンド」を続けながら、
エクイティに取り組む
- V. 既存ビジネスの収益力のアップ
- VI. 競争力強化
- VII. チャンネルの多様化
- VIII. 若手アドバイザーの育成・アドバイザーの質の向上

4. 数値目標

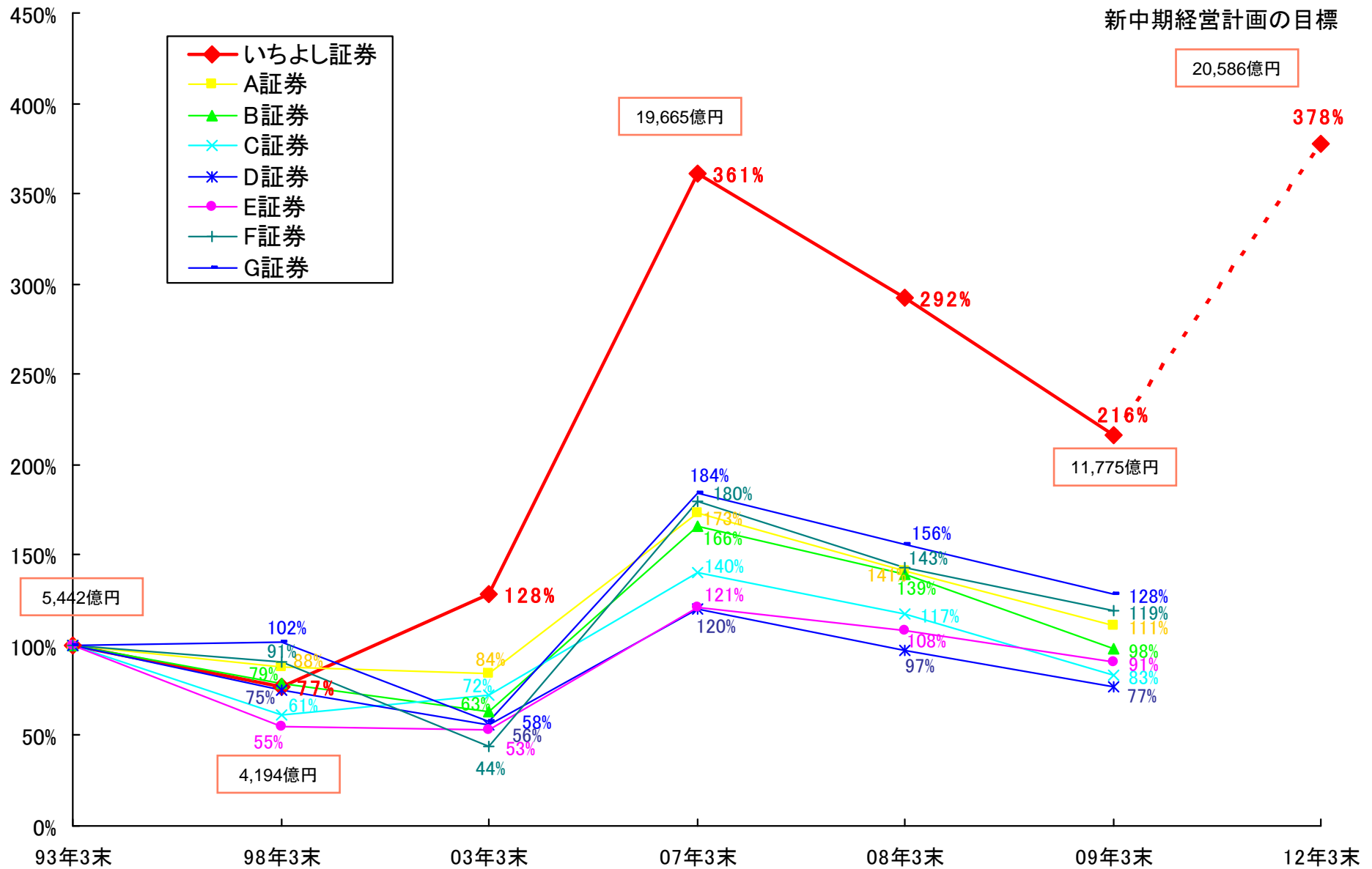
計画期間:【2009年4月～2012年3月末】の3年間

預り資産	2兆円 (1兆1,775億円)
主幹事会社	35社 (27社)
ROE	10～15%程度 (—%)

()内は2009/3月末の数値

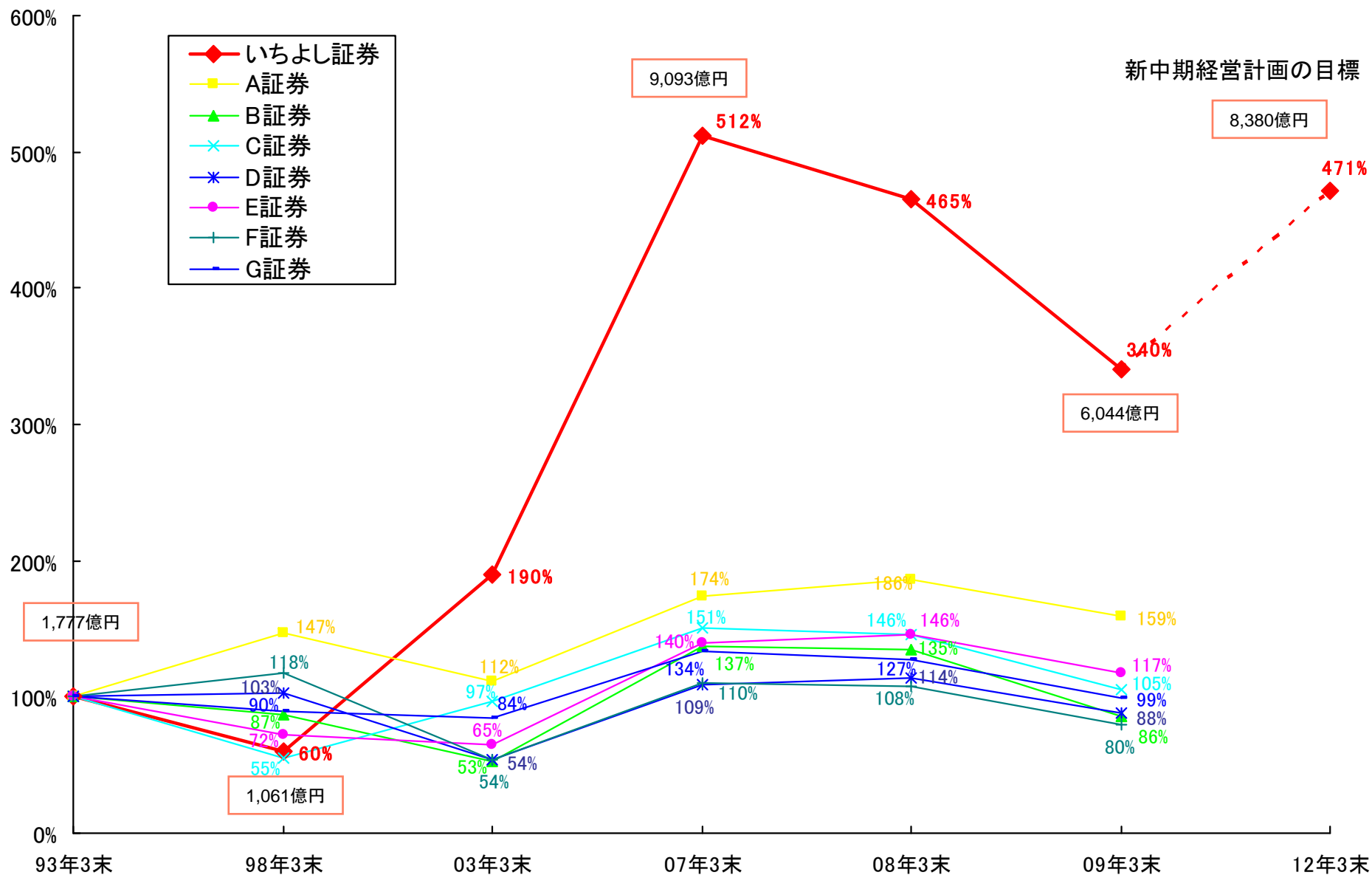
前提条件	2012年3月末
日経平均株価	15,000円
ドル/円	110円
長期金利	1.7%

5. 預り資産の拡大



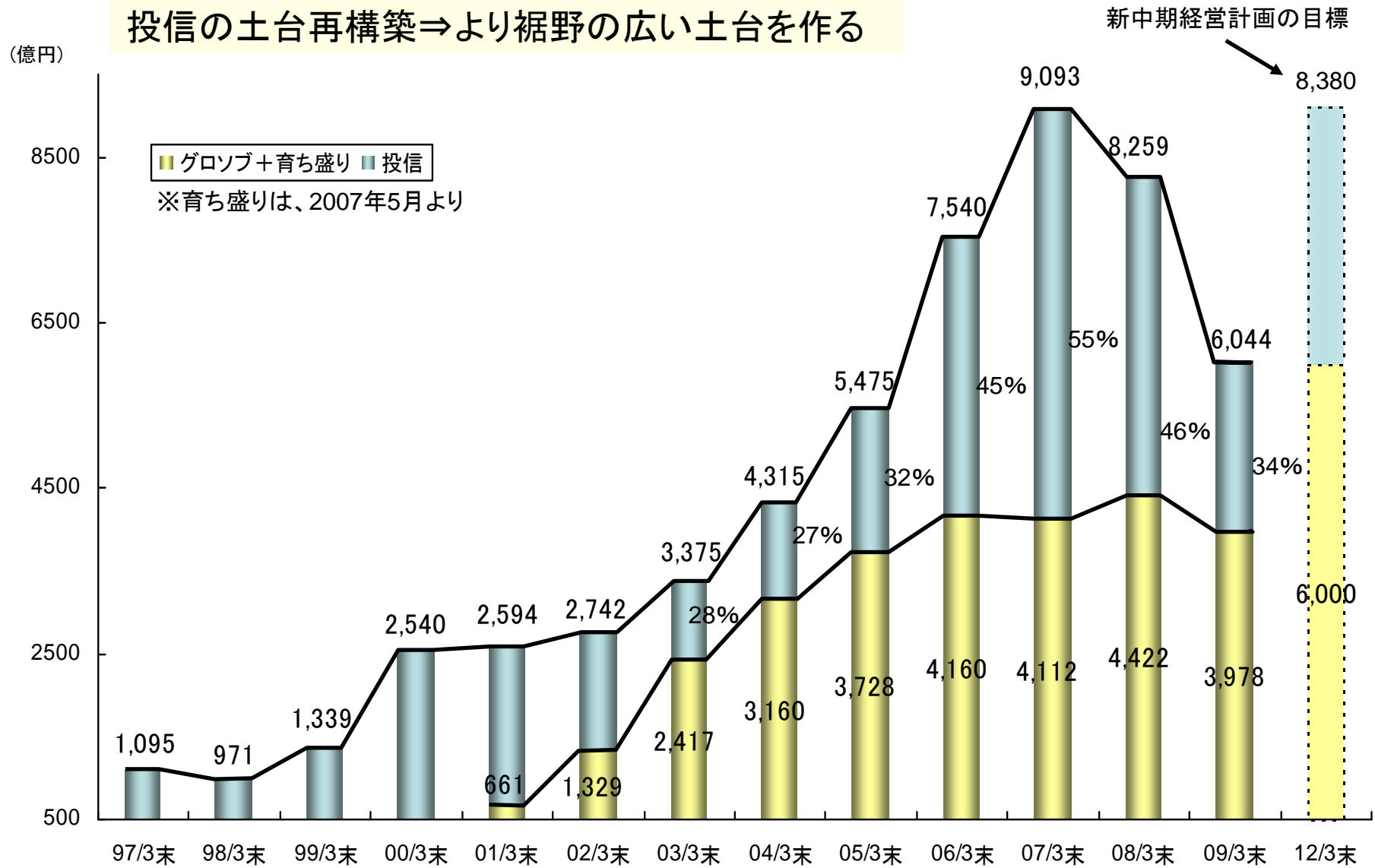
・1993年時点で上場していた証券会社であり、かつ合併していない証券会社。(専門ネット証券会社を除く。)

6. 預り資産の拡大(投信)

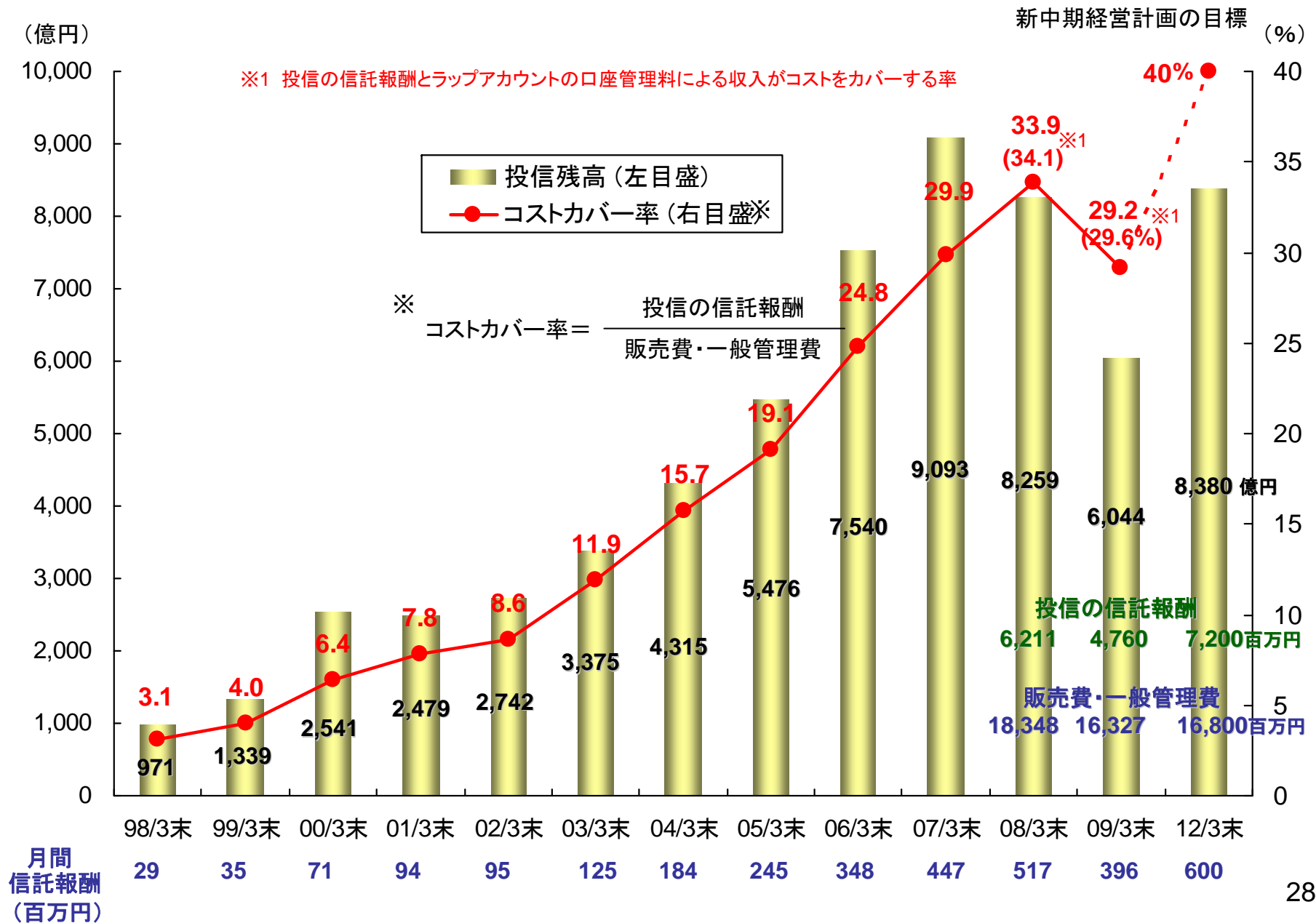


・1993年時点で上場していた証券会社であり、かつ合併していない証券会社。(専門ネット証券会社を除く。)

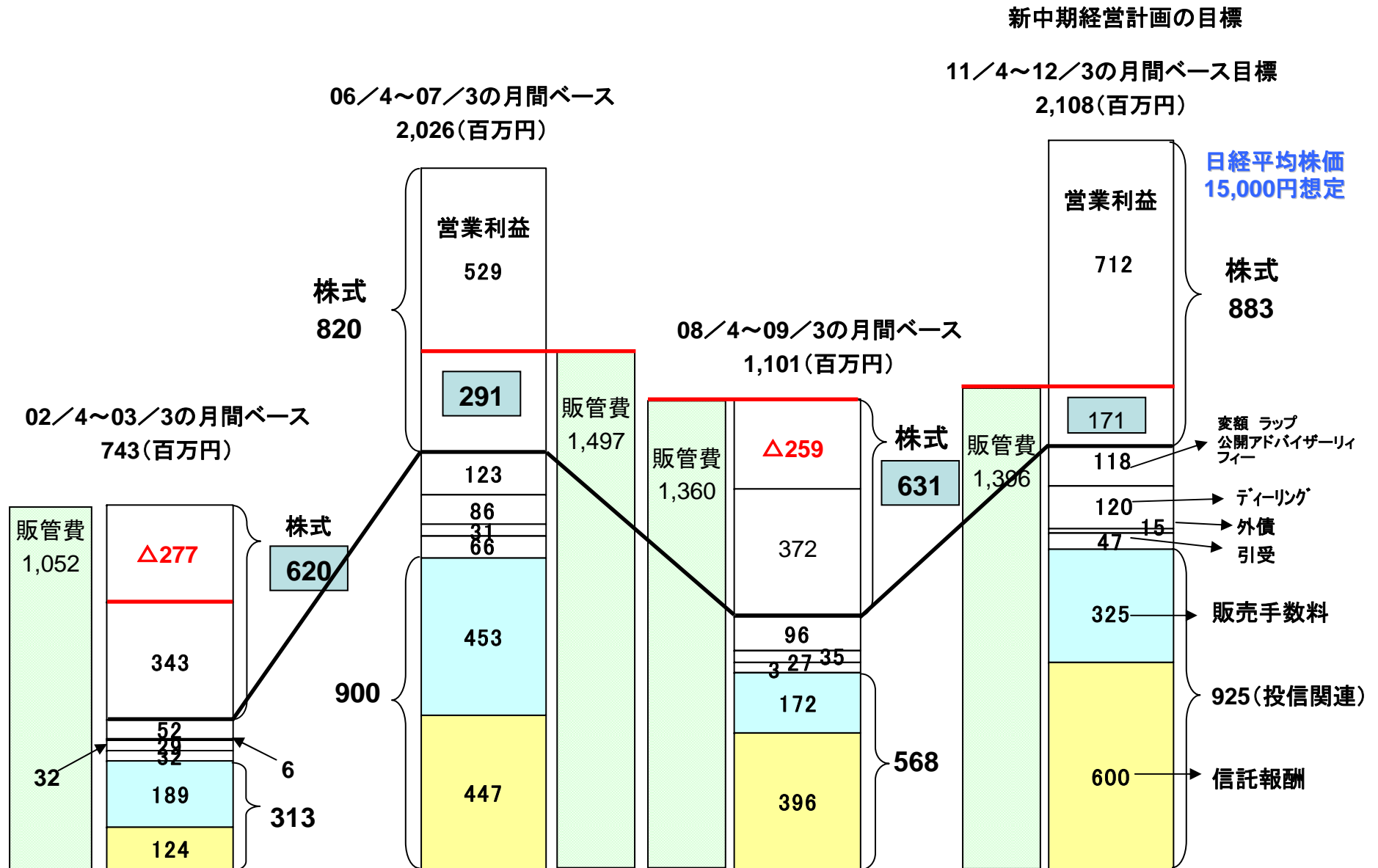
7. 投信残高表



8. 収支構造の改善－コストカバー率(単体)



9. 収支構造の改善 – 株式以外の収益でコストをカバー



① 「グロソブ」「日本国債ファンド」を続けながらエクイティに取り組む

エクイティシフト＝「日本株」＋「外貨資産（投信）」

└──「大型株」＋『中小型株』

② 中長期分散投資が基本スタンス

⇒ ベース資産を基にした中長期的観点のポートフォリオの構築

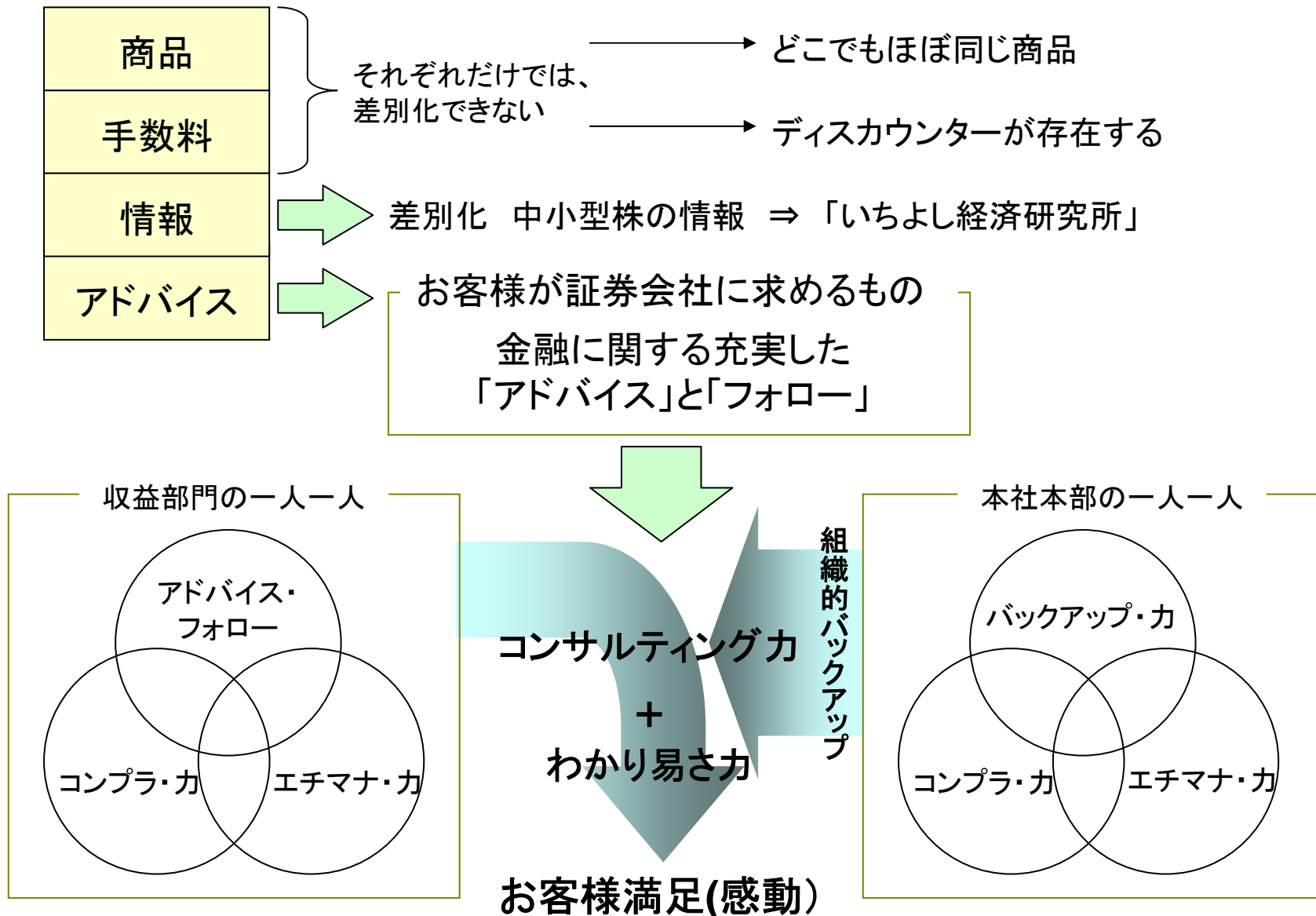
（ベース資産の上に、ミドルリスク、ハイリスク商品を取り込んだポートフォリオの構築）

③ 個人のお客様向け商品についての原理原則

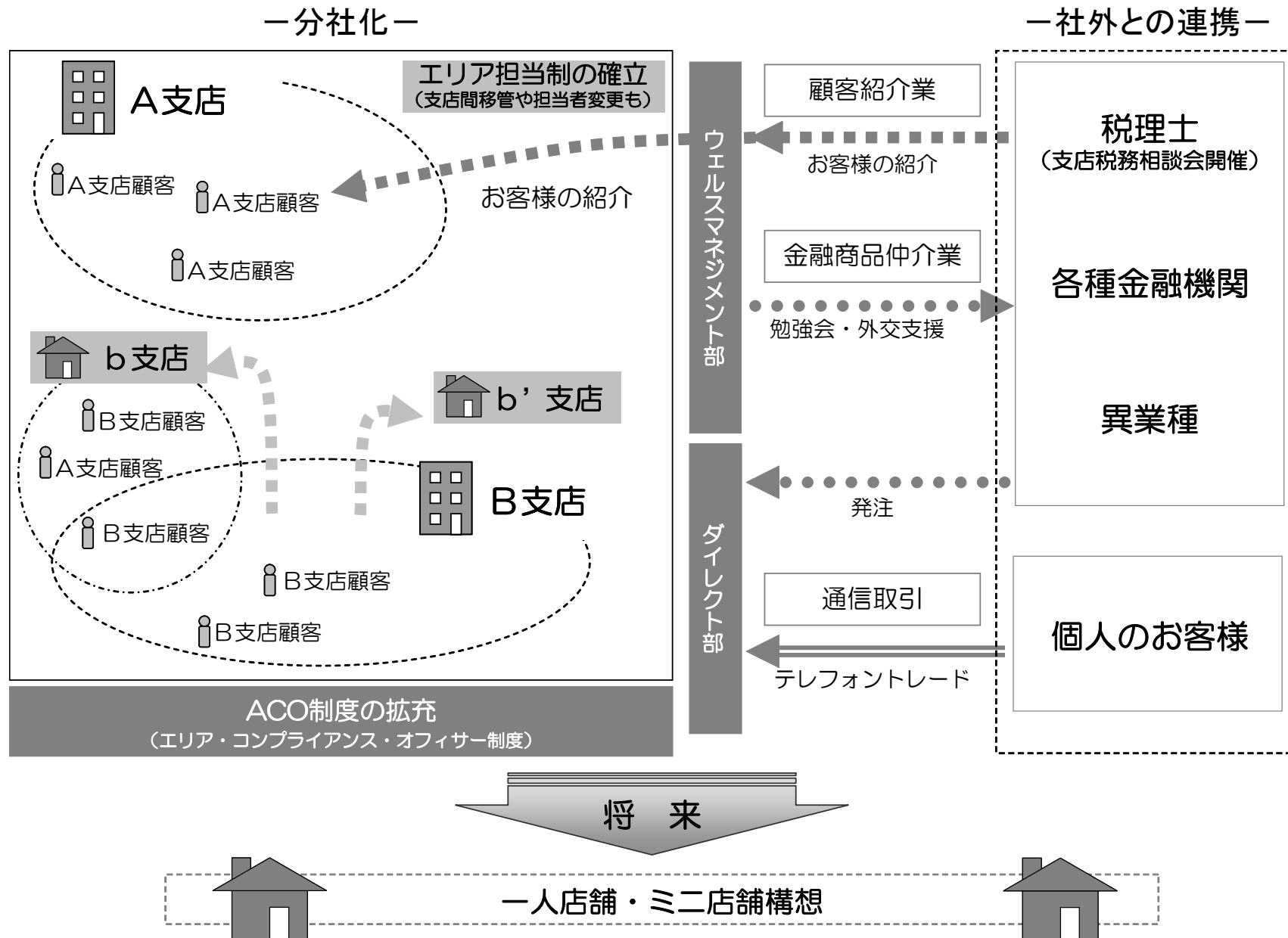
⇒ 売れる商品でも売らない信念 – 「いちよし基準」(10年来実施)

- ・ 公募仕組み債は取り扱わない。
- ・ 社債は、格付けの高いもの。不適格債は取り扱わない。
- ・ 私募ファンドは取り扱わない。
- ・ 外国株は勧誘しない。外国株は投信で持ってもらう。
- ・ 投信委託会社の信頼性、継続性を重視する。
- ・ 先物・オプションは勧誘しない。
- ・ FX(為替証拠金取引)は、取り扱わない。

11. 競争力強化



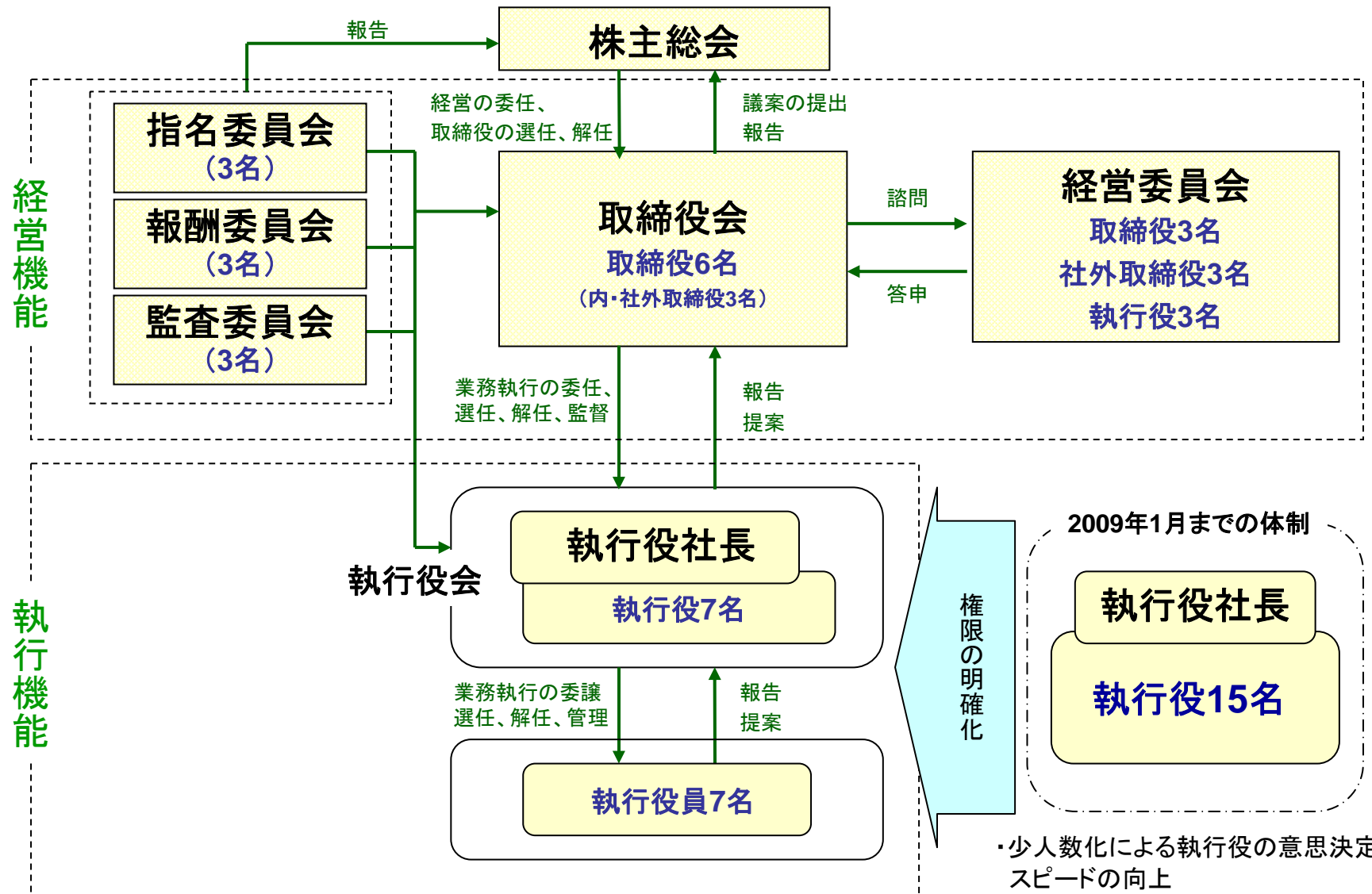
12. チャネルの多様化



IV. コーポレート・ガバナンスと株主利益還元策

1. 当社の経営体制(2009年2月～)

「委員会設置会社」



2009年1月までの体制

執行役社長

執行役15名

・少人数化による執行役の意思決定スピードの向上

・執行役員の業務執行力強化

2. 株主構成の推移

1997年3月31日時点

	株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
1	野村証券	2,928	5.00
2	三和銀行	2,928	5.00
3	大和銀行	2,928	5.00
4	東京三菱銀行	1,989	3.40
5	日本長期信用銀行	1,724	2.94
6	野村土地建物	1,550	2.65
7	住友銀行	1,308	2.23
8	東洋信託銀行	1,191	2.03
9	野村総合研究所	1,100	1.88
10	一吉証券従業員持株会	935	1.60
	合計	18,581	31.72

銀行

2009年3月31日時点

	株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
1	野村土地建物	5,298	12.08
2	ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	3,986	9.09
3	ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505223	1,977	4.50
4	日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口4G)	1,913	4.36
5	ジェイピーモルガンクリアリングコープセク	1,229	2.80
6	日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口)	1,050	2.39
7	野村総合研究所	879	2.00
8	三信	869	1.98
9	メロンバンクエヌエートリーティアクライアントオ ムニバス	792	1.80
10	日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	642	1.46
	合計	18,639	42.50

(注) 持株比率については、自己株式(580,640株)を控除して算出しております。

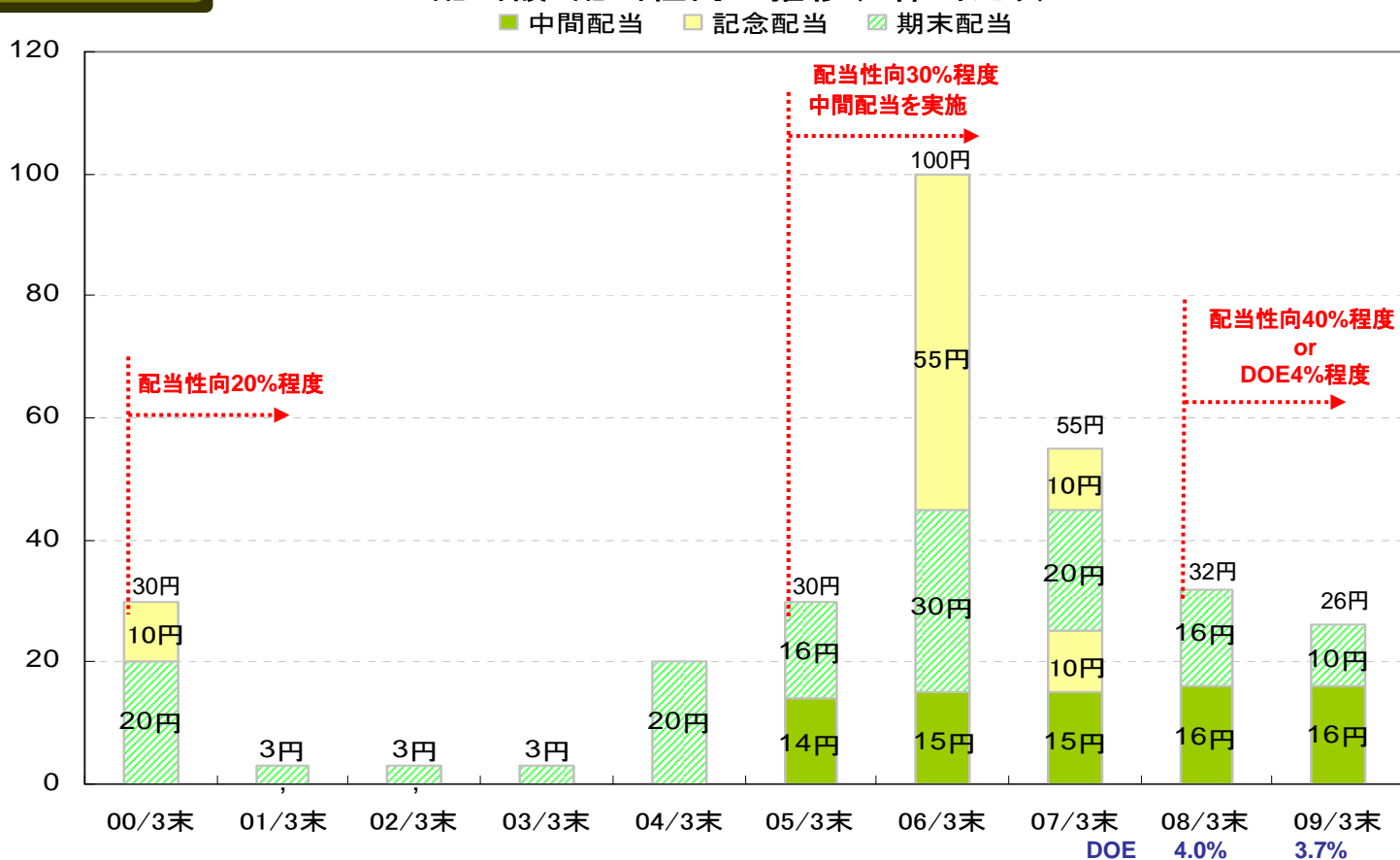
(単位 %)

	1997年3月末	2008年3月末	2009年3月末
個人	35.1	37.6	38.7
外国人	11.4	32.9	28.0
信託銀行	4.3	7.1	9.5

3. 利益還元

配当状況

配当額・配当性向の推移(1株当たり)



自己株式の消却

		償却率
1998年9月～2004年1月	自社株買い 1,184.1万株 @264.55円 自社株消却 1,096.6万株	18.7%
2008年1月～3月	自社株買い／消却 1,699,200株 @1,032.31円	3.5%
2008年11月～2009年1月	自社株買い／消却 1,957,500株 @673.03円	4.2%
	合計	26.4%

(参考) 2009年3月末発行済株式数 44,431,386株

ご清聴ありがとうございました

お問い合わせ先

いちよし証券株式会社 広報室

TEL:03-3555-6343 FAX:03-3555-2165

<http://www.ichiyoshi.co.jp>

この資料は、株主の皆様等に対する当社の情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。このページに掲載された資料の情報に基づき、株式等の有価証券投資を判断される場合には、銘柄の選択、売・買の別、投資の時期などの最終決定はご自身の判断でなさるようお願いいたします。

この資料には、いちよし証券グループの将来についての計画や戦略、財政状態および業績に関する記述が含まれています。これらの記述は、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定に基づく見込みです。市場動向、経済情勢、金融業界における競争激化、法規制や税制などに関わるリスクや不確実性を含んでいます。それゆえ将来の財政状態および業績は、経営環境の変化などにより、見通しと異なる可能性があることをご承知おきください。

商号等 : いちよし証券株式会社 金融商品取引業者
関東財務局長(金商)第24号
加入協会: 日本証券業協会